

秘

明治廿六年六月六日

明治廿六年六月六日

内閣書記官

内閣總理大臣

野田

内閣書記官

野田

外務大臣

野田

外務大臣

野田

外務大臣

野田

内務大臣

野田

内務大臣

野田

内務大臣

野田

内務大臣請儀愛宕館有志會
禁止ノ件

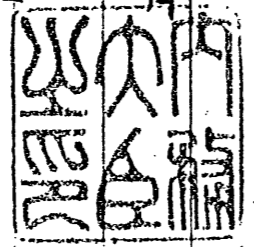
下條

櫻井 義典

別紙 愛宕館有志會 禁止、件提出ス

明治廿八年六月十八日

内務大臣子爵 野村 靖



内閣總理大臣伯爵 伊藤博文 殿

日清收局事件就中遼島半島、還附、関ニ立
憲改進黨立憲革新黨中國進歩黨財政革新
會自由黨員及ヒ其他、各團體員等大ニ之ニ不
滿ヲ懷キ各党派一致ノ運動ニ據リ一ハ以テ政府ニ迫リテ
責任、在ル所ヲ明ラカセシメト欲シ一ハ以テ全國要
地ニ政談演說會若クハ懇親會ヲ開キ或ハ意見
書ヲ發表スル等ノ手段ヲ取リテ一般民心ヲ煽動セ
ント欲シ先般來數次帝國ホテル伊勢勘愛宕館
等ニ各派交渉會ヲ開キ遂ニ本月十五日愛宕館會
議ニ於テ有志會、名ヲ以テ別紙ヲ警視ニ聽乙秘第
三九六号報告、如キ議決ヲ發表シタリ
右愛宕館有志會タルヤ各派有志者、會合ヨリ

成立セルモノニ付未タ形式上政社タルノ要素ヲ備ヘ
スト虫モ其運動ノ状況ヨリ論スレハ純然政社ト見
做シ得ヘキモノト思考ス帝ニ政社ト見做シ得ヘキノ
ミナラス其運動ノ目的タルヤ既ニ前段ニ開陳セル
カ如キ事實ナルヲ以テ今ニシテ之ヲ防止スルノ手段ヲ
執ラズンバ其極國家ノ安寧ヲ妨害スルモノト認定
セサルヲ得ス且ツ警視總監内申ノ趣モ有之ニ付高
此際集會及政社法第十九條ニ照シ該有志
會ヲ禁止セント欲ス但シ之ヲ禁止セハ或ハ更ニ他ノ
名義ヲ以テ該會ヲ再興スルヤモ測リ難キニ付再
三再四ニ拘ラス其都度之ヲ禁止シ終ニ全滅ニ歸
セシメント欲ス

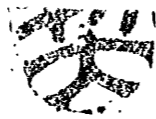
本件ハ固ヨリ本大臣ノ職權ニ屬スト虫モ其繋ル所
頗ル重大ニシテ且ツ内閣全体ノ意見ヲ確定スルノ
必要アルヲ以テ特ニ茲ニ提出ス

右閣議ヲ請フ

明治廿八年六月十八日

内務大臣子爵野村 請





田記 六月三日

政友有志會禁止ニ付テノ上申

尾崎行雄鈴木重遠工藤行幹末

廣重恭田口所吉志賀重昂寺首唱

トナリ本月一日以來數回ノ集會ヲ重子

去十五日ニ至リ愛宕館ニ於テ左ノ議決

ヲ爲シタリ

今ヤ内外多端凶歩艱難ヲ極ニ是

當ニ志士身ヲ以テ國ニ報スルノ時十

リ故ニ左記ノ要領ニ於テ志ヲ同フス

ルモノ相結合ニ以テ忠愛ノ大義ヲ尽

サントス

一帝國ノ光榮ヲ興復スル爲メ速ニ

軍備ヲ擴張シ外政ヲ振刷スル
事

二遼東半島還付ニ對シテハ内閣ヲ

ニテ其責任ヲ明カニセシムル事

三朝鮮ニ於ケル我帝國ノ地位勢力

ヲ維持スル事

而シテ彼等ハ進ニテ運動方案ナシモノ

九條ヲ規定シ尙其方案ヲ實行スル

カ爲メ運動委員十五名ヲ選舉シテ

リ

夫レ政社トシテ政治ノ目的ヲ以テ組成シテ

ハ進形人トシテハキ團體ヲ云フ本會ノ

成立タル一定ノ場所ニ於テ一定ノ人物相

集リ政治ノ目的ヲ以テ要領ヲ定メ一致

協力一定要領ノ下ニ運動シ健進シテ

其ノ目的ヲ遂行セトスルモノナレハ即令

同方ワヘカラサル政治上ノ進形人ニシテ政

社ト認ムルニ於テ充分ナリトス

而シテ彼等ノ目的トスル所遼東半島ノ

還付ヲ以テ乘ズヘキノ機トシ故テニ國勢カ

大臣ノ失政ヲ絶叫シ巧ニ全國ノ民心ヲ激

動シ輕躁客氣ノ少壯ヲ驅リ一時ニ朝勢

ヲ澎湃タラシメ以テ彼等積年ノ希望

タル現内閣ヲ顛覆シテ取リテ之ニ代テシ

トスルノ企ニ出テタルモノニシテ國ノ安寧

秩序ヲ妨害スルモノナルヲ以テ斷然集

會及政社法第二十九条ニ依リ禁止ノ
余令ヲ覆シ禍根ヲ未基ニ鑿除セラ
シ度此政及上申候也

明治二十八年六月十八日

警視總監園田安清



内務大臣子爵野村靖政

這ニ結社成立期日ヨリ三日ヲ経過シテ
成規ノ届出ヲ爲サズルニ於テハ政社法
違反トシテ告發スル見込ニ有之候

左記ニ通探問候修三村及外 候也
明治二十八年六月十五日 警視總監園田安清

乙卯第三九六号

愛宕館會議

本日午後一時ヨリ愛宕館ニ於テ各派交渉會ニ召集シテ有之候事

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 末賀重雄 | 島田三郎 | 野口代治 | 服部 龍 | 首藤隆三 |
| 尾崎行雄 | 末廣重泰 | 伊藤大八 | 鈴木重雄 | 大倉 誠 |
| 山田東次 | 佐藤忠望 | 平島松尾 | 守屋次助 | 工藤行軒 |
| 角田貞平 | 田口四吉 | 金原核巖 | 高橋 義 | 沼田宇治太 |
| 箕浦勝八 | 植田理太郎 | 佐藤良太郎 | 三浦實次郎 | 鈴木春太郎 |
| 三宅雄次郎 | 渡辺雄吉 | 稲垣 示 | 新井孝吉 | 植松 隆 |
| 小鷹得下執 | 山田忠正 | 鈴木昌次郎 | 中村大八郎 | 加治春衛 |

左記諸君爲シテ六月九日乙卯第三九六号

會及政社法第二十九条ニ依リ禁止ノ
余令ヲ復シ之禍根ヲ未基ニ鑷除セラ
レ度此政及上申候也

明治二十八年六月十八日

警視總監園田安實

警視總監
園田安實

内務大臣子爵野村靖政

追テ結社成立期日ヨリ三日ヲ経過シテ
成規ノ届出ヲ爲サレテ於テハ政社法
違反トシテ告發スル見込ニ有之候

左記ニ通探内候事付及外候也

明治二十八年六月十五日

警視總監園田安實

乙卯第三九六号

愛宕館會議

本日午後一時ヨリ愛宕館ニ於テ各派交渉會ニ委名ナリ有志公ニ
午後五時散會シテ出席者左ノ如シ

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 末廣重泰 | 伊藤大八 | 鈴木重遠 | 大倉 | 教 |
| 山田東次 | 佐藤忠望 | 手島松尾 | 守屋次助 | 工藤行幹 |
| 角田貞平 | 田口卯吉 | 金尾核嚴 | 武石教治 | 沼田宇治太 |
| 箕浦勝人 | 植田理太郎 | 佐藤良太郎 | 三浦寛次郎 | 鈴木春太郎 |
| 三宅雄次郎 | 渡田雄吉 | 稲垣 | 示 | 新井亨吉 |
| 小鷹得元 | 山田忠兵衛 | 鈴木萬次郎 | 中村大八郎 | 加治守衛吉 |
| 野村 | | | | |

左ノ以議リ爲シタリ 六月九日乙卯第三九六号参照

今や内外多端國事困難極まり見れば事三志士身ヲ以テ國ヲ救スルノ時ナリ
故ニ左記ノ要領ニ於テ志ヲ固メテ相協力シテ速ニ大義ヲ成サシムル
一帝國ノ光榮ヲ回復スルニ在リ
二遼東半島ノ還付ニ對シテハ強國ヲ以テ其責ヲ任セシムル
三朝鮮國ニ於テハ我帝國ノ地位勢力ヲ維持スル
運動方針

- 一 臨時議會ノ開會ヲ促ス
- 二 東京仙臺名古屋大阪及び中國四國九州等ノ要地ニ於テ大演說會
及ヒ大懇親會ヲ開キ以テ同志ノ意見ヲ發表スル
- 三 關東公東北會關西會ノ類ヲ東京關東以テ地方有志ノ意見ヲ
一之ル
- 四 全國各地ニ演說會懇親會ヲ開キテ地方有志ヲ糾合スル
- 五 意見書ヲ發表スル
- 六 人質派遣ト文書進達トノ手續ヲ以テ偏リ全國人民ニ時事ノ真相ヲ
知ラセム
- 七 右ノ運動ノ外青年ヲ各地ノ有志者ヲ訪問シテ親切ニ事体ヲ説明スル

八 中央ニ少數ノ運動者ヲ止メ其他ノ同志者ハ兼テ地方ニ出張スル
九 地方運動ノ主任者及ヒ支持者ニ域ヲ定ムル
右決議ヲ實行スル爲メテ十五名ヲ運動委員ニ推選シテ
石原半右衛門 平島松原 伊藤大八 尾崎行雄 高田三郎
工藤行幹 鈴木重遠 田口知吉 犬養毅 藤田義一
井上利右衛門 末廣重恭 志賀重昂 安西雄吉 鈴木重次郎

○運動方針ノ第一ニ決議セル如ク臨時議會ノ開會ヲ促
スル書面ハ左ノ如シ

内閣諸大臣ニ何ヲ臨時議會ノ召集ヲ奏請セシムル也
外閣諸大臣閣下任請後一夕ニ起リテ朝野ヲ問ハテ黨派ノ別ヲ畧シテ一致シテ請
公ヲ願フル也
諸公ト西見セズト明カニシテ糾合スル事ヲ請公ヲ援助スル事ヲ請公ヲ直ニ懇求
スル事ナリ

諸公年昔ヲ請求スル貴衆兩院ハ全全一致シテ應ニ請公法案ヲ提出スルバ
諸公ハ又全全一致シテ之ヲ可決スル也
上議院未之見ズ能ク之ヲ可決スル也
公ニテ之ヲ可決スル也
天下無雙ナル非スル也

加之通常議会ヲ待テ軍備擴張費ヲ總豫算中ニ編入スルハ議会ハ之ヲ他ノ

費ト分離シテ可決スルヲ得ズ敷万款項ノ豫算案中荷モ一点ノ冗贅ナル者有テ
彼我ノ争因トナレハ軍備擴張費モ亦其餘中ニ被ラサレテ得ズ是レ亦臨時議
会ヲ開キ別箇獨立ノ議案トシテ軍備擴張案ヲ提出スルハ必要アル所以ナリ
然リト雖モ諸公、意若シ君回ヲ外ニシテ独リ自家ノ便宜ヲ圖ルニ在テ臨時議会ヲ召
集ヲ奏請セサルヲ得策トス蓋シ通常議会ヲ待テ軍備擴張費、各官廳ノ俸給請
給廉費雜給給之ヲ同一豫算案中ニ編入スル他ノ款項ニ冗費アリト雖モ議会
ハ豫算中ノ軍備擴張費及ホサシテ恐レテ容易ニ他ノ冗費ヲ削減スルヲ得サレハナリ
又總豫算全部ノ貴衆兩院ヲ通過シタル後モ非シハ内閣ニ如何ニ決計アルモ議
会ハ豫算案ハ不成立トナラシメトシテ容易ニ之ヲ攻撃スル能ハレハナリ故ニ
諸公若シ軍備擴張費ヲ犧牲ト爲シ其底陰ニ隱シテ誓フ自ラ全クセント欲
セハ臨時議会ノ召集ヲ奏請セズ以テ通常議会ヲ待ツヨリ善キハナシ
諸公々々臨時議会ノ召集ヲ奏請スルト否トハ、公果シテ君回ノ公利ヲ重シトスル將
ク自家ノ私便ヲ重シトスルカノ判断ニ因テ決ス某等平生諸公ト意志ヲ異ニスル道
尚ホ諸公ヲ視テ君回ノ爲ニ其位ニ居ルモノト做ス故ニ諸公ニ向テ君回ノ爲ニ臨時議会
ノ召集ヲ奏請セズトシテ從テ諸公夫レ熱慮シテ新セヨ

今在清ノ役ニ煥ニ善後ノ計正ニ意ナリ是時ニ方ニ臨時議會召集ヲ
奏請シテ往々本誌ヲ外ニ送テ其國民ニ報告ス又將來ノ急務ヲ此敵愾心ニ當テ
氏ノ諒ニ諸公ノ職責ニシテ須臾モ怠ル可カラレ所ニモナリ夫レ血汗ヲ絞テ軍費ヲ供
給シ愛子ノ安祥ヲ放シ戰場ニ赴カシタル者國民ニ未ク鑑和友ニ遺地ニ別ニ報告
ラシメケルニ非ズヤ將ク善後ノ措置ニ對シテ未ク其責任者ニ奉テ問カレ非ズヤ
抑テ兵後軍費ヲ徵收スルニ當リテ則テ議會ニ依頼シ奉テ六則國民ヲ度外視ス
皇ニ此後彼我アル政治家ノ爲スル所ナリヤ
實ニ此普州戰クニ決法ニ際シ併ニ通常議会解散請フテ同會ヲ召集シ豫算和
各約調印後未ク一ヶ月ノ山ヲサシメ早ク臨時議會会ヲ創開シテ新ク之ヲ選舉法ヲ
定メ議案ヲ送ル等セシム者ト能ハレ國民ノ議会ニ召集シ國民ト度外視スル所ナ
リ
諸公公今ニ在テ臨時議會会ノ召集ヲ奏請セザレバ其等ノ前ハ能ハレ所ナ
リ
特ニ軍備擴張ハ方今最大急務ニシテ豫算中ノ各款項皆難望スル所ナリ而シテ其事々
ル之ヲ成熟スルニ許スル所ナシ其等ノ身著キ一以テ緩慢ヲ宍ケルニト辯テ待ツル是
レ又諸公ノ一日ニ早ク臨時議會会ノ召集ヲ奏請セザレバ其等ノ前ハ能ハレ所ナリ

明治廿九年九月十九日

各大臣等御下付の御旨

明治廿九年九月十九日 内閣書記官長 為

内閣總理大臣

内閣書記官長

外務大臣

大蔵大臣

海軍大臣

文部大臣

逓信大臣

内務大臣

陸軍大臣

司法大臣

農商務大臣

別紙内務大臣上申足尾銅山鑛毒事件。關之關係人民陳情ノ者數千人上京ノ間有之右ノ示威的運動ヲ爲ス外ナラス事体穩ナ